

In Situ Xrd測定用シングルウィンドウ付きCr2016コインセルケース

商品番号: FZ07



前書き

耐久性に優れたカプトン（Kapton）製シングルウィンドウと保護アルミニウムコーティングを備えた、当社のプレミアムCR2016

X線分析用コインセルケースで、バッテリー研究を強化しましょう。正確なIn Situ

XRD特性評価および高精度な電気化学的相観察のために設計されており、要求の厳しい研究ワークフローに最適です。

[詳細を学ぶ](#)

用途	説明	主なメリット
In Situカソード相転移分析	高電圧サイクル中の高ニッケルNMC、LFP、およびコバルトフリーカソードにおける構造相変化と格子体積変化のリアルタイム監視。	コーティングされたポジティブ缶からの化学的干渉がゼロで、高忠実度の回折信号が得られる。
OperandoシンクロトロンおよびラボXRD研究	連続的な電気化学的負荷の下での、高輝度シンクロトロン放射光または実験室用回折計を用いた動的構造調査。	0.18 mmのカプトン膜による優れたビーム透過性と最小限のバックグラウンドノイズ。
全固体電池の界面ダイナミクス	サイクル中の固体電解質・電極界面の安定性と化学機械的劣化の特性評価。	剛性の高いシングルウィンドウ構造が、パンクすることなく均一なスタック圧を維持。
アノードインターカレーションメカニズム研究	初期のリチウム化および脱リチウム化中のグラファイト、シリコン-グラファイト複合体、および変換型アノードの構造追跡。	気密性の高い封止により、数時間にわたるスキャン中の外気や湿気の侵入を防止。
ナトリウムイオンおよび多価イオン電池のR&D	可変電流密度下でのNaイオン、Kイオン、Znイオン化学向けの新規ホスト材料のIn Situ調査。	特殊な内部表面処理と不動態化層による強力な耐食性。
熱的・電気化学的ストレス試験	同時熱曝露および連続サイクル下での結晶学的安定性の複合分析。	熱に強いポリイミドフィルムが、高い試験限界まで寸法安定性とセルシールを保持。

仕様項目	値 / 特性
製品番号	FZ07
構成タイプ	片面ウィンドウ（XRD分析用）
ケース標準サイズ	CR2016
外径	20.0 mm
ケース全高	1.6 mm
X線ウィンドウ膜材質	ポリイミド（カプトン）フィルム
ウィンドウ膜厚	0.18 mm

仕様項目	値 / 特性
ポジティブシェル内部表面コーティング	高純度アルミニウムコーティング
アルミニウムコーティング厚	< 0.01 mm
総重量（概算）	0.25 oz (7.0 g)
主な用途	In Situ / Operando X線回折（XRD）材料分析
シール適合性	標準的な油圧式および電動式コインセルクリンパー